

研究計画概要書

研究課題名		保健学科の学生の疲労度と生活習慣の関連
研究組織	研究責任者 (所属・職名・氏名)	名古屋大学医学部保健学科看護学専攻健康発達看護学講座 教授 榊原 久孝
	研究分担者 (所属・職名・氏名)	名古屋大学医学部保健学科看護学専攻3年 安形 梨沙子
	共同研究者 (所属・職名・氏名)	
	研究事務局 (機関の名称・住所・連絡先)	榊原研究室 〒461-8673 名古屋市東区大幸南1-1-20 TEL/FAX 052-719-1923 メールアドレス sbara@met.nagoya-u.ac.jp
研究の意義・目的		<p>保健学科の学生は、将来人々の健康増進にかかわる職業につくものが多い。現在、保健学を学ぶ中で自身の健康について考える機会も、他学部学生に比べ多いと思われる。人々の健康を考えるうえでも、自らの健康に関心を持ち、健康を心がけた生活を送ることは望ましい。</p> <p>しかし、現代の学生は学業だけでなく、アルバイトや部活動をしている者も多く、疲労を感じている学生や生活リズムが乱れがちな学生もいるだろう。疲労が蓄積すると体調を崩したり、勉学に集中できず学業に支障を及ぼしたりする可能性が考えられる。</p> <p>そこで今回、保健学科の学生の自身の健康への関心度と疲労度、生活習慣を調査することで、疲労度への影響が大きい生活習慣を明らかにしようと考えた。疲労度を下げするために改善すべき生活習慣を明らかにすることで、学生が健康に過ごすための手助けをすることを目的とする。</p>
主な選択基準		名古屋大学医学部保健学科 1～3年の学生
研究方法（多施設共同研究の場合は、本学の役割も記載）		<p>無記名・自記式アンケートにより横断研究を実施する。アンケートは、名古屋大学医学部保健学科1～3年生を対象に、名古屋大学医学部保健学科大幸キャンパス内で実施する。講義終了後の時間を活用して、講義を担当する教員に事前許可を得たうえで、講義室で研究対象者に説明書、質問紙を配布し、本研究の目的、方法、倫理的配慮を説明し、回答した質問紙は回収ボックスに投函していただく。</p> <p>アンケート回収後、学生の疲労度と生活習慣の関連について、アンケート結果をExcelに入力し、統計ソフトウェアSPSSを用いて解析する。</p>

研究期間	倫理審査会で承認が得られた日～平成 31 年 3 月 31 日
インフォームド・コンセントの方法(説明を行う者等)	<p>説明書に研究目的、研究方法、起こりうる不利益、倫理的配慮、研究参加は対象者の方の任意であり研究に参加しなくてもそのために不利益が生じることはない旨を記載し、これらを口頭で説明する。</p> <p>アンケートは無記名・自記式とし、アンケートの回収をもって、本研究の参加に同意していただいたものとみなす。調査対象者には大学生ではあるが未成年者も含まれるため、研究概要について HP に公開する。また、回収方法を「配布時に会場に設置した回収 box で回収する」「後日、指定された場所に設置した回収 box に入れてもらう」の 2 種類用意することで、親権者または未成年後見人が拒否できる機会を保障する。</p>
個人情報の管理体制(個人情報管理者、連結表の管理体制等)	無記名・自記式アンケートのため個人情報は含まれない。
研究で収集した試料・同意書の保管場所、研究終了後の試料の取扱い	回答いただいたアンケート用紙は、本研究期間中は榊原研究室の鍵のかかったロッカーに厳重に保管し、研究終了時はすみやかにシュレッダーにて廃棄処分する。電子データ化したアンケートの回答内容は、第三者に情報が公開されないよう、パスワードをかけて USB メモリに保存し、研究終了後に破棄する。
効果安全性評価委員会 (委員の職名・氏名・審査間隔)	
被験者に重篤な有害事象が生じた場合の対処方法	

※この概要書は、HP 等で公開されることを前提に作成し、原則として A4 2 枚以内に収めること。